

在宅医療・介護連携のため の現状把握について

富津市の基本理念(目指す姿)と施策の体系

基本理念(目指す姿): 高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまち

そのために

だからこうなる

目標1 健康づくりを推進する

- 介護予防の推進(一般介護予防の実施、公共施設や通いの場の活用等)
- 健康づくりの推進(特定健診・各種健診・健康相談等の実施)

目標2 在宅生活が継続できる体制を整備する

- 在宅医療・介護連携の推進
- 認知症施策の推進(認知症初期集中支援チームの運営。認知症ケアパスの作成・普及等)
- 多様なサービスの充実と介護者支援の強化(高齢者の実態把握と相談支援体制の整備等)

目標3 地域でのつながりを強化する

- 施策6 地域づくりの推進(支え合い活動の推進。高齢者見守り事業の推進等)
- 施策7 災害・感染症対策の強化(感染症対策の支援等)
- 施策8 高齢者虐待の防止(早期発見・通告のための体制整備等)
- 施策9 成年後見制度の推進

富津市の現状

住民基本台帳人口 (令和7年4月1日)	40,166人
65歳以上人口	16,060人
高齢化率	39.98%
要介護認定者	3,077人
居宅介護(介護予防)サービス受給者	1,562人
地域密着型(介護予防)サービス受給者	322人
施設介護サービス受給者	572人

富津市の現状 ※富津市の指定を受けた市外事業所も含む

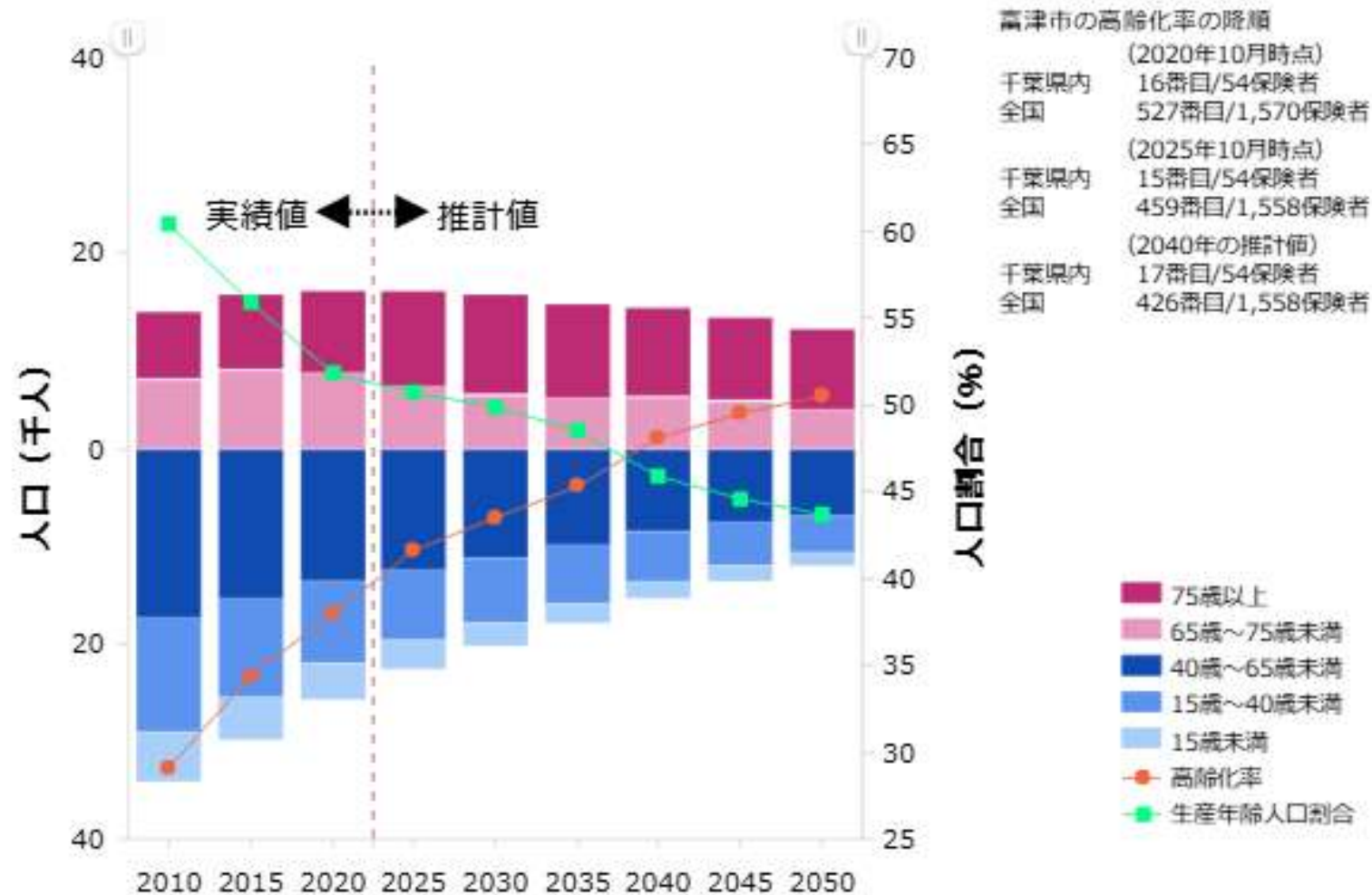
	医療・介護資源	箇所
1	医療機関(病院・診療所)	15
2	歯科医院	14
3	薬局	18
4	居宅介護支援	14
5	訪問看護	8
6	訪問介護	15
7	訪問入浴介護	3
8	訪問リハビリテーション	2
9	居宅療養管理指導	51
10	通所介護(地域密着型、認知症対応型含む)	17
11	通所リハビリテーション	4

出所: 1~3は令和7年5月27日、医療情報ネットから検索
<https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>

	医療・介護資源	箇所
12	小規模多機能型居宅介護	1
13	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
14	短期入所	8
15	福祉用具貸与	3
16	認知症対応型共同生活介護	5
17	介護老人福祉施設(地域密着型含む)	9
18	介護老人保健施設	2
19	養護老人ホーム	2
20	ケアハウス	2
21	有料老人ホーム	4
22	サービス付き高齢者向け住宅	6
23	介護予防支援(地域包括支援センター)	3

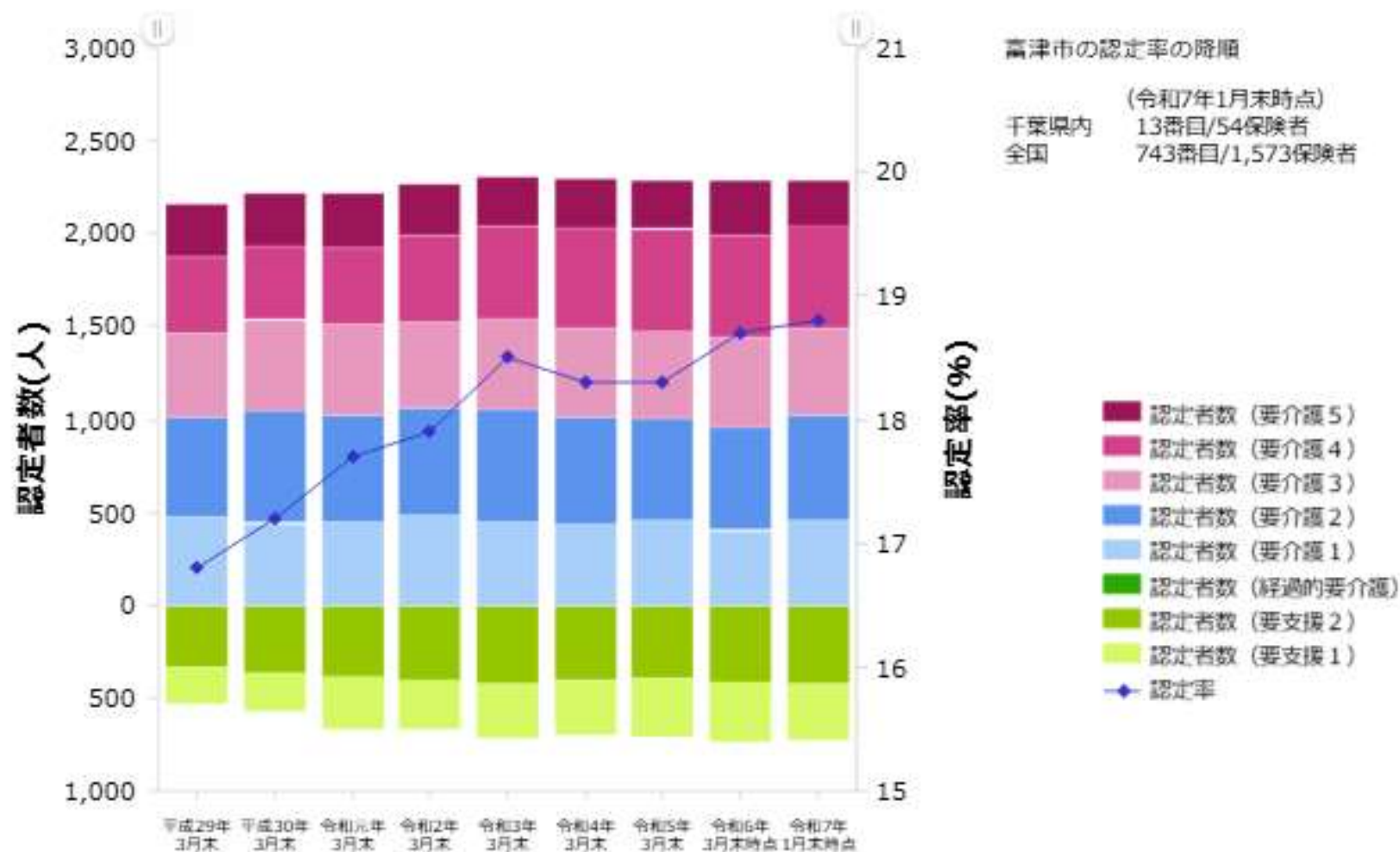
出所: 4~23は介護サービス情報公表システム<https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>及び「令和5年度版福祉・国保・介護ガイドブック」から検索

富津市の人口の推移



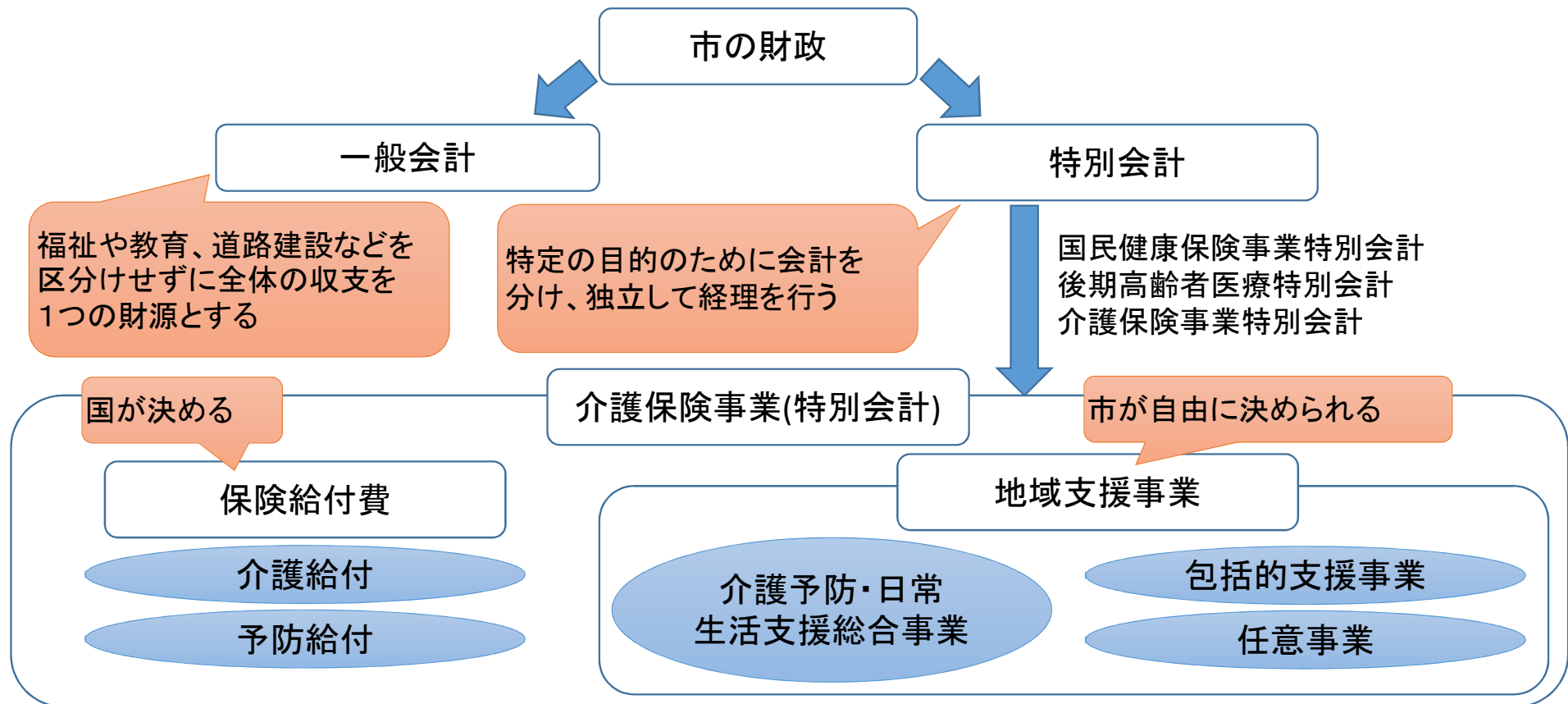
(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

富津市の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移

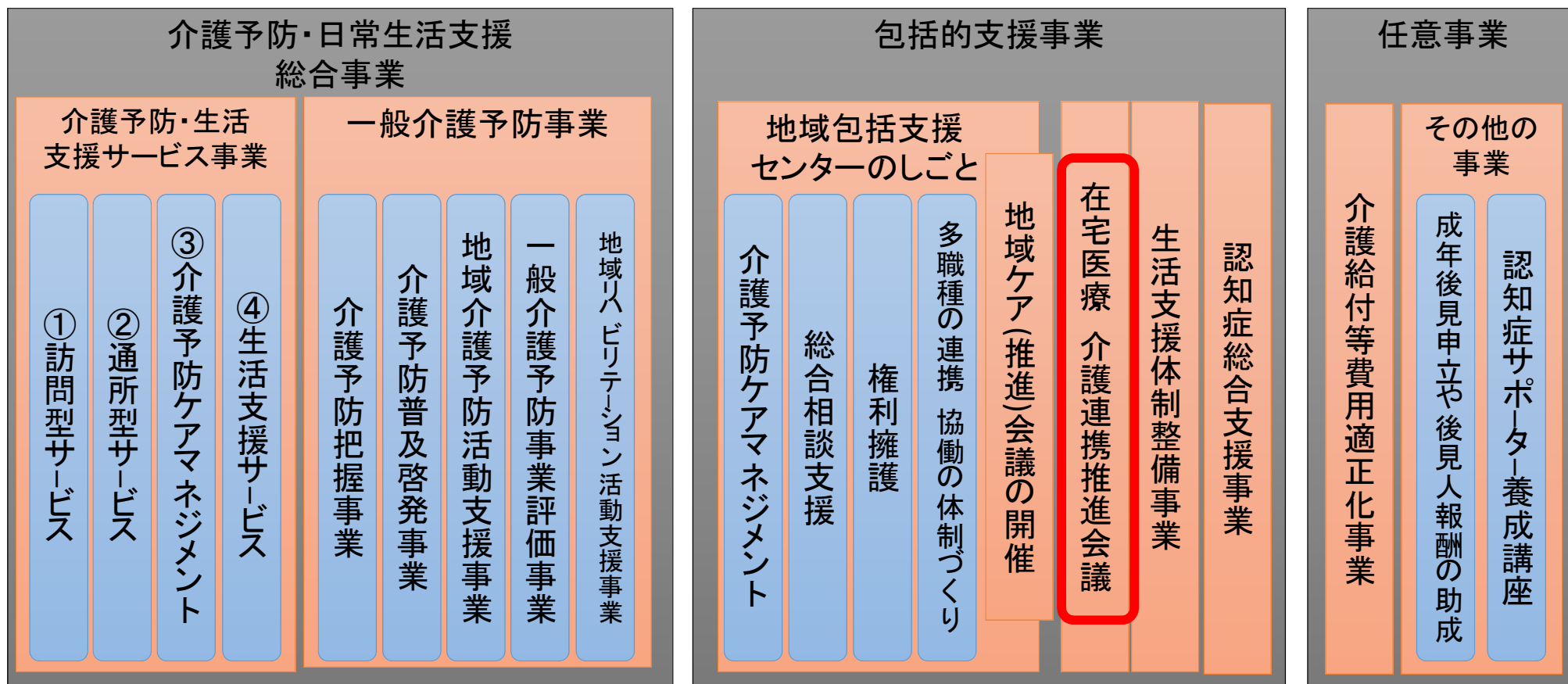


(出典) 平成28年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和5年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和6年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

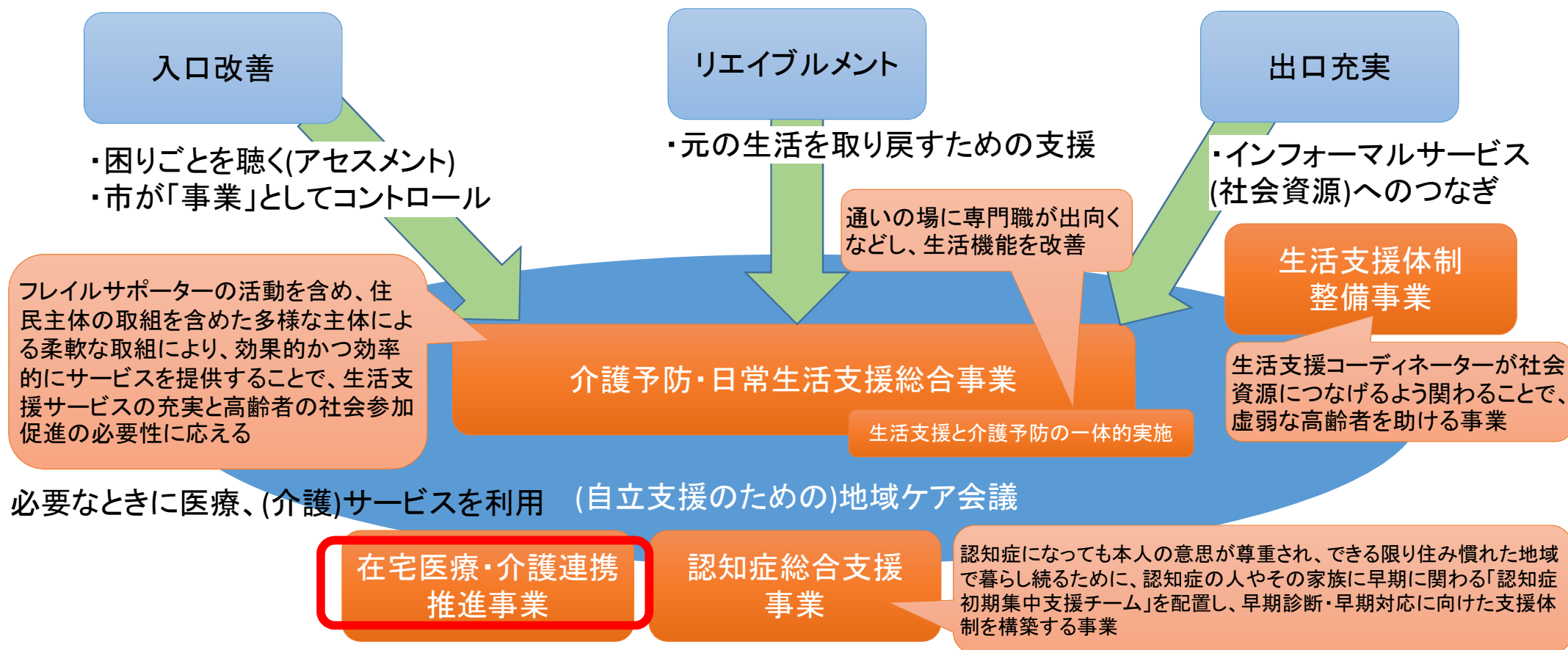
介護保険事業(特別会計)における地域支援事業の位置づけ



地域支援事業の構成



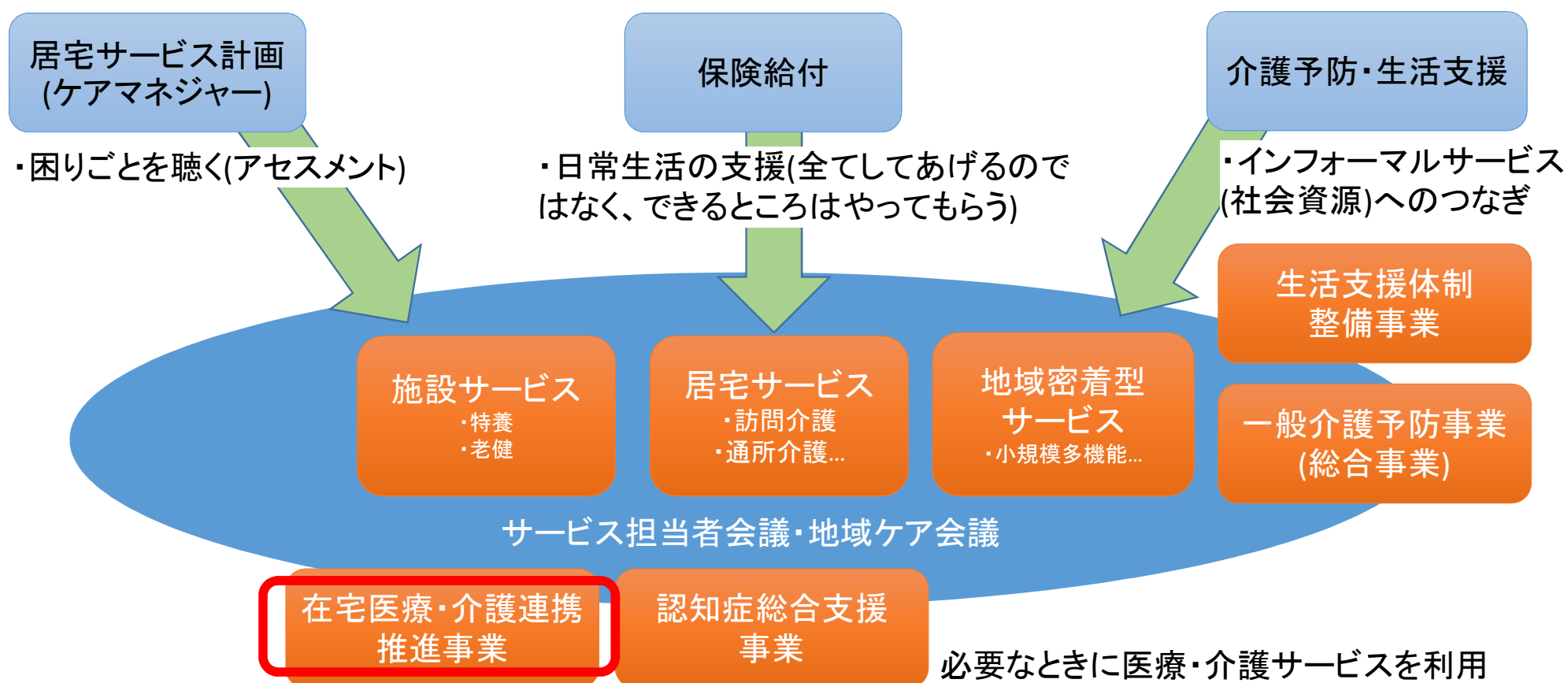
要支援1・2の方、事業対象者への関わり



出典: 令和5年3月8日「地域包括ケアシステム構築に係るアドバイザー派遣報告会」 医療経済研究機構 中村 一朗 氏 資料を一部修正

出典: 社会保障審議会介護保険部会「見直しに関する意見(平成25年12月20日)」

要介護1～5の認定者への関わり



4つの場面ごとの目指すべき姿

- 在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる場面(①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り)を意識した取組が必要である。
- 4つの場面ごとの現状分析、課題抽出、目標設定等を行う前提として、地域のめざすべき姿を必ず設定し、その目的を実現するために、達成すべき目標を4つの場面ごとに設定することが重要である。

出典：令和7年3月

厚生労働省老健局老人保健課発行「在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.4」52頁

在宅医療・介護連携推進事業における目指すべき姿

住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち

日常の療養支援

本人とご家族がどちらも、治療や介護サービス等を継続して活用し、健康管理や気持ちの変化を専門職で共有することにより、在宅で安心して暮らすことができる

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

入退院支援

本人の心身状態を把握したうえで体調の変化を早期に発見し、再入院のリスクを回避すると同時に、在宅での生活を継続する

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

急変時の対応

医療と介護、救急(消防)が連携することにより、本人の意思を尊重したうえで、急変時に適切な対応ができる

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

看取り

最終的に、すべての利用者がよかったと思える理想の最後を迎えられるような看取りができるようにする

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

対応策①

在宅医療・介護連携に関する相談支援

「医療介護連携地域相談サポート医設置事業」

- 事業内容

...本人の受診拒否など医療に関する対応が困難なケースについて、市から委託を受けた地域包括支援センターの「在宅医療・介護連携支援相談窓口」を通じて、地域相談サポート医に「相談」「質問」ができる仕組み。

①富津市の事業所等は、まず富津市のサポート医に「相談」「質問」

②難事例の場合は、他市のサポート医と共に協議する「医療相談検討会議(毎月第3木曜開催)」へ諮られる

- 地域相談サポート医

...木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市が相談業務を委託している、君津木更津医師会から選出された医師

相談先...各地区地域包括支援センター

対応策②

地域住民への普及啓発

- 令和7年度、「マイライフノート」を一部改正し配布。
- 令和5年度及び令和6年度、「マイライフノート」を配布。マイライフノート活用セミナーを開催。
- 令和4年度、「マイライフノート」を作成。
- 令和3年度、「在宅医療・介護関係者資源リスト」の配布
- 令和3年度、「富津市マイライフノート」の配布
- 令和2年2月9日、「在宅医療と地域の支えあいのための講演会」を開催

対応策③

医療・介護関係者の情報共有の支援

バイタルリンクの運用

- ・ S管理者(医師会)※有料

...管理者を増やすことができる。その他の機能は管理者及び利用者と同じ

- ・ 管理者(行政、包括等)※有料。誰でも管理者となれる

...患者の部屋(グループ)を作成し、そこに関係する医療・介護事業所を招待できる

...バイタルリンクへ事業所の登録ができる。その他の機能は利用者と同じ

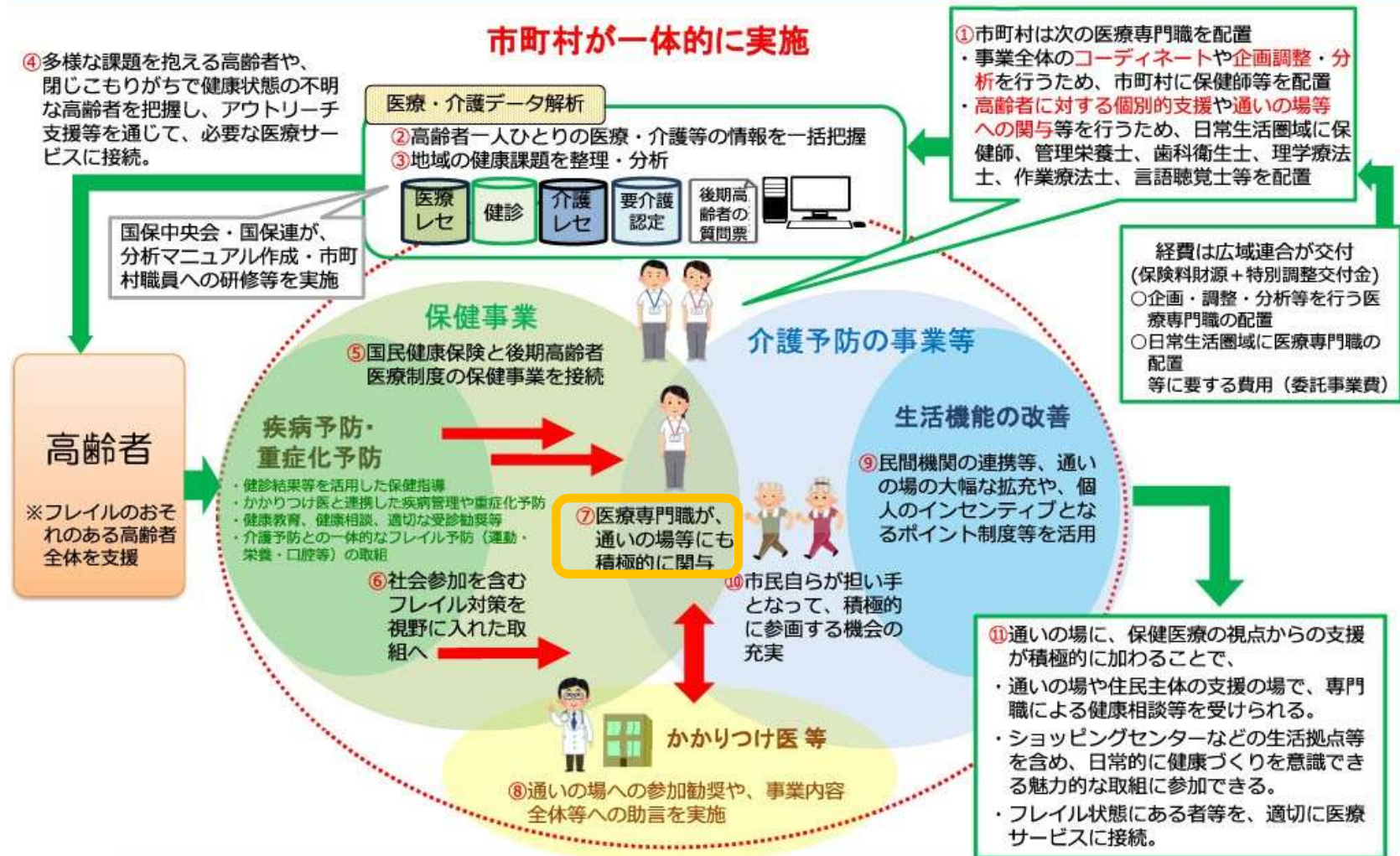
- ・ 利用者(医療・介護事業所)

...招待された患者の部屋にて、連絡帳によりメッセージや画像のやり取りができる

...全体掲示板等で、情報共有ができる

※令和5年度、令和6年度にバイタルリンク操作体験会を開催

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（市町村における実施のイメージ図）



～2024年度までに全ての市区町村において一体的な実施を展開（健康寿命延伸プラン工程表）～